

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	堺市			代表者名	永藤 英機
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	ICTイノベーション推進室	連絡先電話番号	072-228-7264
担当者役職	一般職員	担当者氏名	奥井 知里	連絡先E-mail	
住所	590-0078 大阪府堺市堺区南瓦町3番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	データ利活用推進事業		
概要	EBPMにおける仮説の設定までの流れについて、研修及びフォローアップを依頼する。				
支援を求める分野	EBPM（エビデンスに基づく政策立案）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年2月13日	支援・助言&フォローアップ(実地)	13時00分	16時00分	
			活動時間（分）	180	
2-2. 派遣場所	会場名	堺市役所		最寄駅	堺東駅
	所在地	堺市堺区南瓦町3-1		最寄駅からの交通手段	徒歩（「堺東駅」下車、西出口からバスロータリーの方角に約200メートル）

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 拓也
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	所管課から提出されたワークシートを事前に読み込んだうえで、仮説立てに必要な視点や検証に必要なデータ等を具体的に助言いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	7人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	7	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	堺市では、今年度の一部の事業で先行してEBPMに取り組んでいるが、現状では職員のスキルや知識不足、データ作成・加工の負担が大きく、十分な活用が進んでいない。今後、パイロット事業の対象分野を拡大し、職員のデータ分析力や評価力の向上を図ることで、全庁におけるEBPMを推進していく。特に令和8年度は、「堺市基本計画2030」の初年度であり、KPIの達成度、結果に寄与する因子の分析が必要となる。そのため、データサイエンティストの支援を受け、データ分析に至る仮説の分析を行う。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	令和8年8月のKPI推進本部会議にて、「堺市基本計画2030」のKPIの達成について、データを用いた要因分析が行われる。令和8年1月～3月に、仮説の設定から仮説検証に必要なデータの検討を行い、令和8年4月からデータ分析、結果の解釈、施策方針の検討を行う。これによって、限られた財源・人的リソースを、住民満足度の高い施策に効果的につなげる。具体的には、泉北ニュータウンにおける39歳以下の住民の流入促進、自転車都市魅力の向上のほか、観光・ごみなど（現在選定中）の市民利便性に相関の高い事業を5事業選定し、データ分析を行う。分析結果を次年度の事業実施に活用し、市民サービスの向上につなげる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	5つの事業の選定についてご助言をいただいたほか、実際に取り組む所管課に対して、EBPMの基本的な考え方や、目標・問題・課題や仮説の設定方法についての集合型研修を実施いただいた。また、前回のアドバイザー派遣時の宿題として所管課で実施した 이슈ツリーの作成や必要なデータの検討、可視化方法の検討について助言いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	所管課で作成した 이슈ツリーや、仮説検証の検証に必要なデータ、可視化の方法について、専門家の知見から支援をいただくことで、効果的な仮説立案やデータ分析を行うための準備ができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	データ分析による仮説検証を行うにあたり、 이슈ツリーの整理や必要となるデータ、可視化の方法を検討したワークシート	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	講演・セミナー又は個別の事業支援に該当しないため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	5つのパイロット事業課におけるEBPMにおける課題と問題の洗い出し、ロジックツリーの作成、仮説の設定から仮説検証に必要なデータの検討までの流れについて、パイロット事業課への研修及びフォローアップを実施する。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	5つのパイロット事業課が、目標・問題・課題を整理した上でロジックツリーを作成し、仮説の設定、仮説検証に必要なデータの検討・収集を行えた状態。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

